

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

昨年度作成した企画書(トリアージ・変時対応等)を活用し、病棟全体の実践能力の向上に努めた。また、スタッフが短い時間の関りでも家族に対して看護を提供して行く視点が持てるように取り組んだことで、家族を意識した対応が日々の振り返り日誌に反映されるようになった。しかし、看護記録として入院送り書の入力率は成人 85%、小児 60%。IC 後の反応は成人 70%、小児 50%であり継続した看護の提供に繋がるように記録の充実を継続していく。看護を語る会は全員発表し、自身が大切にしている看護を見つめなおす機会となった。倫理カンファレンスは、Jonsen の 4 分割法で「監視カメラ設置の妥当性」「COVID-19 患者の面会」等、年間 5 回実施した。スタッフへ疑問や投げ掛けを繰り返すことで、スタッフの気づきからデイリーダーを中心に計画外の倫理カンファレンスが実施できるように変化した。

2) 病院経営に参画する

救急外来の薬剤破損防止対策に取り組んだ。今年度 67 件(昨年度 86 件)で目標の 50%減少にはならなかった。年間破損内容の上位は「準備したが指示変更となった」「小児の痙攣頓挫」が 34 件で半数を占めている。勤務ごとの紛失割合は、日勤(平日・祝休日 10%)夜勤(平日 31%・祝休日 49%)で夜勤帯での破損が目立つ。今後も破損件数減少に向け働きかけを継続していく。

物品管理は、病棟・救急外来とも物品や書類の整理整頓を行い、働きやすい環境になるように取り組んだ。また、病棟用物品借用管理ファイルを整理したことで、物品を探すタイムロスがなくなった。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

正しく患者確認が実施できるように毎月不定期にチェックを継続し、個々の指導を強化した。薬剤による確認不足のインシデント発生件数は 9 件(R3 年度 3 件)と昨年度より増加しており、6R・指差呼称を定着化し危機管理意識の向上に向けた取り組みを継続する。また、ImSAFER は(ラベル貼付間違い、患者誤認、内服薬過少投与等)年間 5 件の分析と改善対策を話し合い意識向上に繋がっている。その他、スキンプレイルチェックリストを 7 月より救急外来に導入したことで MDRPU0 件、スキんテア発生 0 件で目標は達成した。持ち込み褥瘡やスキんテア発見の早期対応も行えている。

4) 専門職として能力開発に努める

院内キャリアラダーレベル認定を受講した 7 名が認定された。次年度はラダーⅣ希望者が多くなる。スタッフと面談を通して個々の希望確認と、動機づけを行いながら受講できるように調整していく。また、スタッフが自主的に院内・院外研修に参加しキャリア開発に繋がるように支援していく。

5) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

スタッフの希望に合わせリフレッシュ休暇や年次休暇が取得できるよう調整を行い、年間計画に沿って取得できた。QC 活動は、多職種の協力もあり今後も継続していく。方法に関しては、オリエンテーション日を 2 日間から 1 日に変更し、参加者が業務に集中できるように見直した。次年度は、病棟から参加しやすい体制を検討しながら継続する。

パートナーシップマインドの他者評価○の数は 90%以上で改善している。後期は「対等」に関する項目から、「複眼の心」に関する項目が増えている。協調・協働した関りとして、先輩からの働きかけだけではなく後輩が意見を述べられるような関わり方が継続的に見えるようにサポートしていく。

2. 病床運営状況

表 1 令和 4 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
12	救急科	31.7	11.3	3.4	4.8	28.5	31.8

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
				8

3. 看護体制

表 2 令和 4 年度 看護体制(令和 4 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
31	PNS [®]	3:3

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 4 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

基準を満たす 患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		32.3	42.6	50.7	59.4	68.4	61.5	56.1	60.8	64.6	73.9	70.0	67.0

2)部署データ

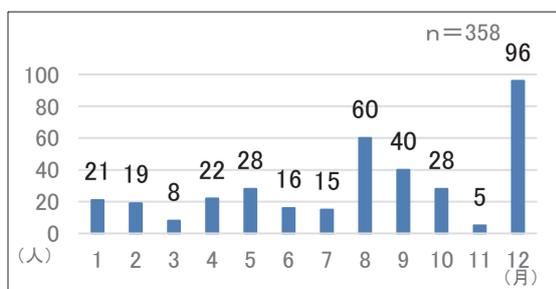


図 1 令和 4 年度 西 2 病棟入院患者数

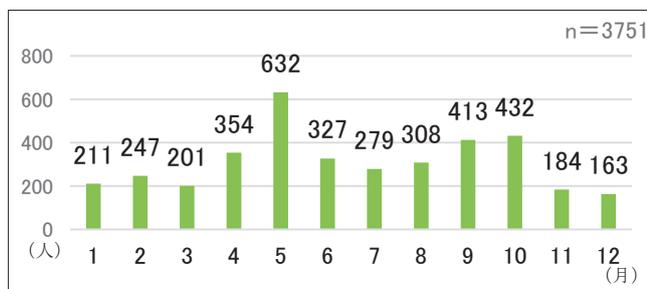


図 2 令和 4 年度 発熱コンテナ受診患者数

※病床運用について

令和 4 年 11 月 1 日より
夜間の緊急入院患者受け
入れを開始する。

令和 4 年度

救急外来患者数 23,382 人
搬送患者 3,437 人

曜日	受付患者数(人)	搬送患者数(人)	平均受付数	平均搬送数
月	3,456	489	66.5/日	9.4/日
火	3,069	473	59.0/日	9.1/日
水	3,185	480	61.3/日	9.2/日
木	3,203	515	61.6/日	9.9/日
金	3,217	532	60.7/日	10.0/日
土	3,363	470	64.7/日	9.0/日
日	3,889	478	74.8/日	9.2/日